


コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

| 項目 | 内容 |
|-----------|---|
| 事業者名 | 会社名：有限会社横山竹材 代表者職名・氏名：代表取締役 横山 富男 |
| 補助事業テーマ | 新しい加工方法や加工技術を用いたコロナ渦における京銘竹の更なる可能性の追求 |
| 事業実施期間 | 令和2年10月12日 ～ 令和3年2月28日 |
| 事業の目的 | ① 既存の商品である「ヨコタケボード」に抗菌・抗ウイルス効果を持たせ、売上及び安心・安全性の向上を目指す。 ② 燃焼確認試験及び有害性ガス試験に合格し、難燃・準不燃竹を使用したヨコタケボードの商品化を目指す。 ③ 作業の効率化、納期短縮を行うための機械の導入を進める |
| 事業の実績(成果) | ① 社内で研究・実験を繰り返し行った結果、竹の品質や色合いを壊さず、抗菌・抗ウイルス加工を施すことに成功した。 この加工は、防災加工品も含め、弊社既存のヨコタケボード全種類に適応可能であり、今後コロナ社会の中で売り上げを伸ばしていければと考えている。  ※ヨコタケボード晒竹平割(抗菌・抗ウイルス加工品)SIAA 認証製品 ② 難燃・準不燃竹の商品化については、コロナウイルスの影響に当初の計画より遅れているものの、商品化に向けて確実に進んでいる。 ③ 機械の導入は予定通り進み、今後の with コロナ社会と伝統産業業界が抱える高齢化や人材不足に対応するための第一歩は踏み出したのではないかと考えている。 |
| 今後の展望 | 今後は本事業で取り組んだ難燃・準不燃や抗菌・抗ウイルス加工といった弊社の知識・技術を既存の取引先だけでなく、より多くの人知ってもらい、新たな販路を開拓していかなければならないと考えている。想像もつかないことが起こる現代において、時代とお客様一人一人のニーズに合った商品を提供し、昔ながらのスタイルに縛られない柔軟に対応できる体制を築き、with コロナ社会においても京都の竹文化を絶やすことなく、前向きに事業を進めていければと考えている。 |